



第94期 中間報告書

2020年4月1日 > 2020年9月30日

 三菱ガス化学株式会社

社会と分かち合える価値の創造

証券コード：4182





新たな組織体制のもとで
事業ポートフォリオの最適化を進め
社会課題の解決につながる
製品・事業の創出を加速します

代表取締役社長 藤井 政志

第94期第2四半期事業活動について

株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症により困難に直面している多くの方々にお見舞いを申し上げます。また、医療現場をはじめこの感染症に立ち向かっている多くの方々に改めて敬意を表します。

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、経済活動が抑制され、厳しい状況で推移いたしました。日本経済も、経済活動レベルの引き上げに伴い、足元の景気動向には持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、半導体向け製品や光学樹脂ポリマーの需要が堅調であったものの、新型コロナウイルスの影響で自動車関連製品を中心に需要が減退したほか、メタノール、ポリカーボネートおよび高純度イソフタル酸等の汎用製品の市況も低水準で推移いたしました。

当社グループの売上高は、芳香族化学品、発泡プラスチックおよびエンジニアリングプラスチックの販売数量減少に加え、汎用製品の市況下落の影響が大きく、減収となりました。

営業利益は、光学樹脂ポリマーおよび半導体向け製品の販売数量増加に加え、原燃料安や、販売費及び一般管理費の減少などの増益要因があったものの、芳香族化学品、発泡プラスチックおよびエンジニアリングプラスチックの販売数量減少や、汎用製品の市況下落などにより、減益となりました。

経常利益は、営業利益が減少したものの、前年同期に計上したサウジアラビア合併事業での一過性費用（78億円）の剥落により海外メタノール生産会社の持分法損益が改善したことなどから、増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加え、税金費用が減少したことなどにより、大幅な増益となりました。

なお、当期の中間配当金は、前中間期と同額の35円といたしました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2020年12月

【中期経営計画】

MGC Advance2020

MGCグループ もっと大きな夢に！

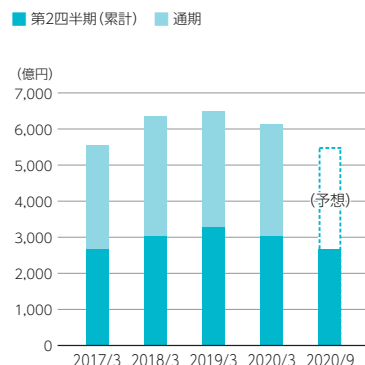
基本方針

- 1 MGCグループの企業価値の向上
- 2 MGCグループを取り巻くステークホルダーからの信頼の醸成

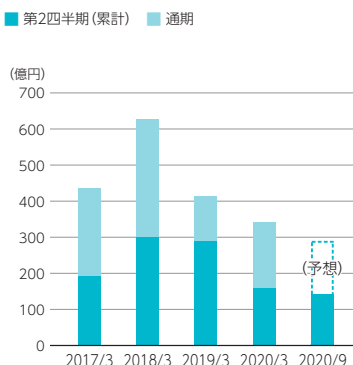
基本方針を実現するための5つの施策

- ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化
- ②新規事業の創出と育成
- ③最適な事業ポートフォリオに向けた投資戦略の実行
- ④MGCグループ体となった経営の推進
- ⑤持続的成長を支える〈質〉の向上

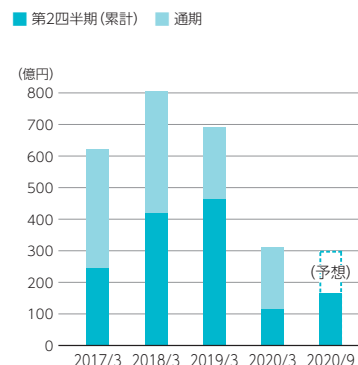
売上高



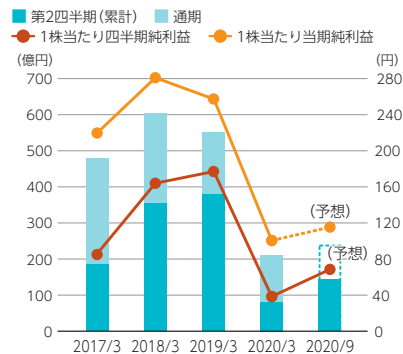
営業利益



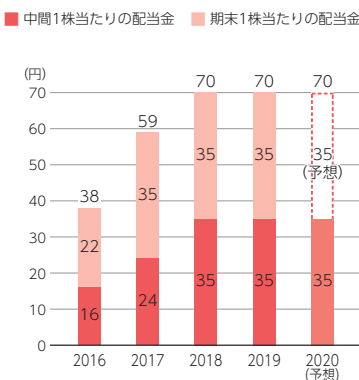
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益／1株当たり四半期(当期)純利益(注)



1株当たり配当金(注)



(注) 当社は、2016年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期(当期)純利益および1株当たり配当金は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

事業別営業概況

(2020年4月1日～2020年9月30日)

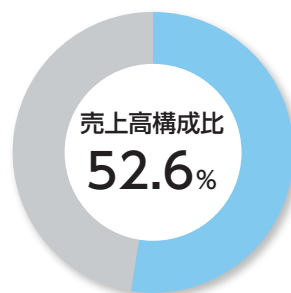
当社は、2020年4月1日付で、事業部門・管理部門ともに、全体最適を指向した組織に見直しました。

この改定に伴い、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

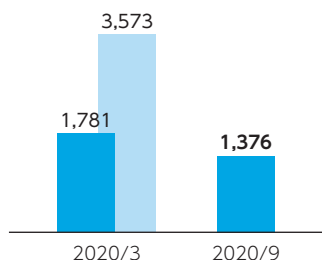
基礎化学品事業

主要製品

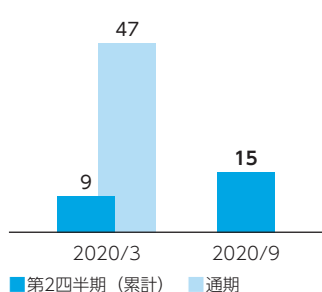
メタノール、アンモニア、メチルアミン、MMA、多価アルコール、
メタキシレンジアミン、MXナイロン、芳香族アルデヒド、発泡プラスチック 等



売上高 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 億円)



メタノールは、市況が前年同期に比べ下落したことなどから、減収となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、原料価格の低下があったものの、MMA系製品の市況下落に加え、修繕費の増加などもあり、減益となりました。

特殊芳香族化学品は、芳香族アルデヒドの販売が堅調に推移したものの、住宅関連用途を中心にメタキシレンジアミンの需要が減少したことなどから、減益となりました。

汎用芳香族化学品は、原燃料安があったものの、高純度イソフタル酸およびメタキシレンの販売数量減少・販売価格下落などにより、減収減益となりました。

発泡プラスチック事業は、食品・土木分野での需要増加などがあったものの、自動車分野での需要減少や都市封鎖に伴う生産活動への影響などから、減収減益となりました。

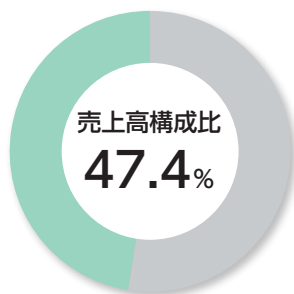
以上の結果、売上高1,376億円（前年同期比405億円減（22.8%減））、営業利益4億円（前年同期比66億円減（93.1%減））、経常利益15億円（前年同期比6億円増（65.0%増））となりました。



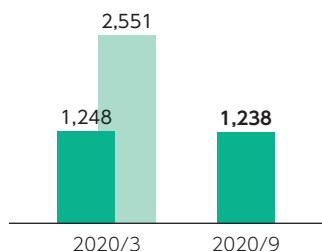
機能化学品事業

主要製品

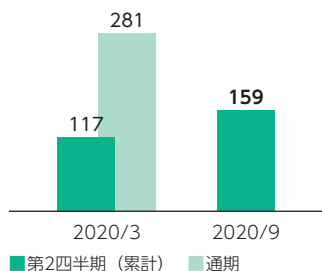
過酸化水素、電子工業用薬品、ポリカーボネート樹脂、ポリアセタール樹脂、光学樹脂ポリマー、プリント配線板用材料、脱酸素剤 等



売上高 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 億円)



無機化学品は、半導体向け薬液の販売数量が増加したことなどから、前年同期を上回る損益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、自動車向けを中心に需要が減退したことに加え、ポリカーボネートの市況が前年同期に比べ下落したことなどから、減収減益となりました。

光学材料は、スマートフォン用カメラレンズの複眼化の進展や昨年10月の生産能力増強により光学樹脂ポリマーの販売数量が増加したことなどから、増収増益となりました。

電子材料は、データセンターなどのICT関連需要の高まりや、5G対応スマートフォン用アンテナ・イン・パッケージ基板向けの立ち上がりなどにより、主力の半導体パッケージ用BT材料の販売数量が増加したことなどから、増収増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、土産などの観光需要が減少したものの、輸出が堅調に推移したことなどから、前年同期並みの損益となりました。

以上の結果、売上高1,238億円（前年同期比9億円減（0.8%減））、営業利益153億円（前年同期比52億円増（52.0%増））、経常利益159億円（前年同期比41億円増（35.3%増））となりました。



トピックス

台湾で原料過水から超純過水までの一貫生産体制を構築 ～電子産業向け超純過水事業の世界戦略を加速～

当社は、超純過酸化水素（以下、超純過水）事業の更なる伸長を目指し、台湾子会社における工業用過酸化水素（以下、工業過水）製造設備の建設を決定しました。

超純過水は、主に半導体のウエハやデバイスの製造工程で使用されます。

当社グループは超純過水において世界トップのシェアを持ち、世界最高レベルの品質とそれを保証する分析・品質保証体制を有するリーディングカンパニーとして、多くの顧客と取引を拡大してまいりました。

台湾では高品質な超純過水の需要が急増しています。今回建設する工業過水製造設備から稼働中の超純過水設備へ原料を供給することで、原料となる工業過水から超純過水までの現地一貫生産体制および供給安定性・高品質・コスト競争力を伴った超純過水の製造販売を実現します。



写真：当社グループの台湾子会社

主要3商社を統合し、「三菱ガス化学トレーディング株式会社」がスタート

MGCトレーディング株式会社は本年10月1日付で同社の子会社である当社グループ主要3商社（菱陽商事、東京商会および菱江化学）を吸収合併し、新たに「三菱ガス化学トレーディング株式会社」としてスタートいたしました。

本合併により、当社グループの事業活動をより一体化し、海外展開や新規事業開発への取り組みをグループ全体で加速するとともに、「医・食」「情報・通信」「モビリティ」などの成長領域をより強く意識した、市場密着型の営業体制を目指していきます。

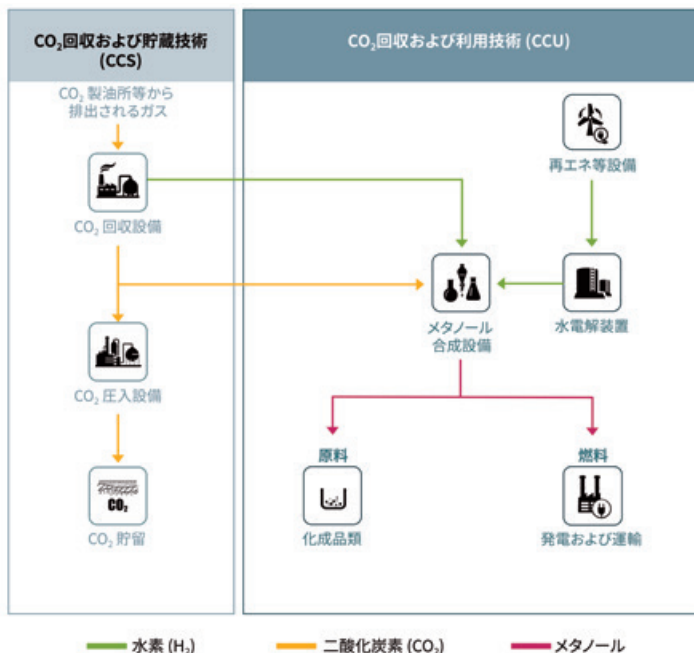
また、3商社が長年にわたり培ってきたビジネスの実績、知見、信用基盤ならびに人材が融合することによるシナジーを発揮することで、化学の力を社会の課題解決につなげる高度なマーケティング組織として、また、売上高1,500億円規模の化学メーカー系専門商社としてのプレゼンスをより一層高め、当社グループの更なる企業価値向上を図ってまいります。

「メタノール等の基幹物質の合成によるCO2有効活用に関する調査事業」に採択

当社、三菱日立パワーシステムズ(現:三菱パワー)および三菱重工エンジニアリングは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した「苫小牧のCO2貯留地点におけるメタノール等の基幹物質の合成によるCO2有効活用に関する調査事業」に採択されました。

今回の調査事業では、製油所から回収されたCO2を原料にメタノールを合成することを想定し、CCUの実現(回収CO2からメタノールを合成するCO2利用/CCU:CO2 Capture and Utilization)に必要な技術的調査を行います。また、カーボンリサイクルメタノールの事業化と脱炭素社会に必要なイノベーションの創出を目指します。

調査結果は、将来的には多様なCO2排出源に適用できるものです。当社は、環境保全と経済発展が両立する持続可能な社会の実現に向けて、CO2削減の取り組みに積極的に貢献していきます。



CSRサイト(WEB)リニューアルのお知らせ

皆様にとって、より使いやすく、より分かりやすいWEBサイトとなるよう、**当社CSRサイトを10月より全面的に**リニューアルいたしましたので、ぜひご覧ください。

<https://www.mgc.co.jp/csr> ▶

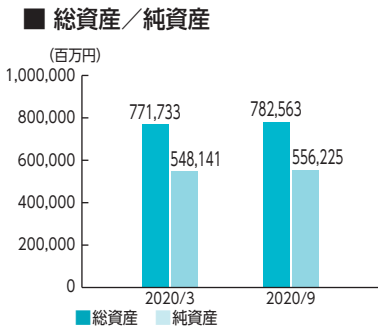


連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期 (2020年9月30日現在)	前期 (2020年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	366,300	358,669
現金及び預金	111,471	78,227
受取手形及び売掛金	120,638	141,279
有価証券	9	3,514
たな卸資産	115,620	114,797
その他	18,560	20,850
固定資産	416,262	413,063
有形固定資産	238,861	239,838
建物及び構築物	88,793	84,339
機械装置及び運搬具	78,962	81,079
その他	71,105	74,419
無形固定資産	10,219	10,597
投資その他の資産	167,182	162,628
投資有価証券	152,358	149,158
その他	14,823	13,470
① 資産合計	782,563	771,733

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期 (2020年9月30日現在)	前期 (2020年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	148,766	163,574
支払手形及び買掛金	60,391	70,776
短期借入金	38,678	33,980
その他	49,697	58,818
固定負債	77,571	60,016
社債	20,000	—
長期借入金	27,286	29,043
その他	30,285	30,972
② 負債合計	226,338	223,591
(純資産の部)		
株主資本	501,425	494,306
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,336	34,234
利益剰余金	446,678	439,701
自己株式	△ 21,558	△ 21,600
その他の包括利益累計額	△ 105	△ 1,785
その他有価証券評価差額金	10,104	7,789
為替換算調整勘定	△ 7,426	△ 6,701
その他	△ 2,784	△ 2,872
非支配株主持分	54,904	55,619
③ 純資産合計	556,225	548,141
負債・純資産合計	782,563	771,733



① 資産合計

流動資産は、現金及び預金の増加などにより増加しました。
固定資産は、投資有価証券の増加などにより増加しました。

② 負債合計

流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより減少しました。
固定負債は、社債が増加したことなどにより増加しました。

③ 純資産合計

利益剰余金が増加したことなどから、増加しました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期(累計) (2020年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2019年4月1日から 9月30日まで)
4 売上高	266,637	303,369
売上原価	206,378	239,632
販売費及び一般管理費	45,888	47,702
5 営業利益	14,370	16,034
営業外収益	5,277	4,116
営業外費用	3,105	8,460
6 経常利益	16,541	11,690
特別利益	1,536	3,082
特別損失	308	362
税金等調整前四半期純利益	17,770	14,411
法人税等	2,347	4,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,167	1,754
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,255	8,147

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期(累計) (2020年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2019年4月1日から 9月30日まで)
営 業 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	33,075	38,663
投 資 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△16,546	△21,911
財 務 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	14,805	△23,592
現金及び現金同等物に係る 換 算 差 額	△1,280	△1,850
現金及び現金同等物の増減額	30,053	△8,690
現金及び現金同等物の期首残高	70,043	80,379
連結子会社増加に伴う現金増加高	—	258
現金及び現金同等物の期末残高	100,097	71,947

4 売上高

芳香族化学品、発泡プラスチックおよびエンジニアリングプラスチックの販売数量減少に加え、汎用製品の市況下落の影響が大きく、減収となりました。

5 営業利益

光学樹脂ポリマーおよび半導体向け製品の販売数量増加に加え、原燃料安や、販売費及び一般管理費の減少などの増益要因があったものの、芳香族化学品、発泡プラスチックおよびエン

지니어リングプラスチックの販売数量減少や、汎用製品の市況下落などにより、減益となりました。

6 経常利益

営業利益が減少したものの、前年同期に計上したサウジアラビア合併事業での一過性費用(78億円)の剥落により海外メタノール生産会社の持分法損益が改善したことなどから、増益となりました。

株式の概要

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 492,428,000株

発行済株式の総数 225,739,199株

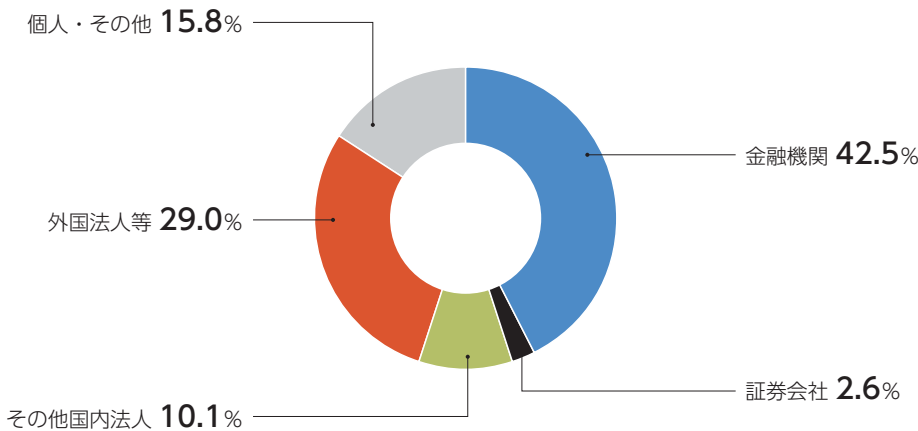
株主数 23,654名

上場取引所 東京証券取引所第一部（証券コード：4182）

大株主	株主名	持株数（千株）	出資比率
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	18,067	8.69%
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	10,951	5.26%
	明治安田生命保険相互会社	8,797	4.23%
	日本生命保険相互会社	8,795	4.23%
	農林中央金庫	5,026	2.42%
	AGC株式会社	4,835	2.32%
	株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	3,799	1.83%
	株式会社横浜銀行	3,085	1.48%
	JP MORGAN CHASE BANK 385781	2,995	1.44%
	株式会社三菱UFJ銀行	2,700	1.30%

(注) 1. 当社は自己株式を17,724千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



会社概要

(2020年9月30日現在)

社名

三菱ガス化学株式会社
(登記商号：三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

資本金

419億7千万円

従業員数

2,444名 (連結：9,093名)

事業所

研究所：東京研究所、新潟研究所、平塚研究所

工場等

新潟工場、水島工場、四日市工場、山北工場、鹿島工場、QOLイノベーションセンター白河

本社所在地

〒100-8324
東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル

創業

大正7 (1918) 年1月15日

設立

昭和26 (1951) 年4月21日

役員

代表取締役会長	倉井敏磨	取締役 役外	谷川和生	執行役員	木暮直毅	執行役員	島 義和
代表取締役社長	藤井政志	取締役 役外	佐藤次雄	執行役員	川端嗣二	執行役員	伊佐早禎則
取締役 役外	稲荷雅人	取締役 役外	広瀬晴子	執行役員	白井一志	執行役員	山口良三
取締役 役外	有吉伸久	取締役 役外	鈴木 徹	執行役員	北川元康		
取締役 役外	大久保知彦			執行役員	宮本隆行	監査役 役外	木村高志
取締役 役外	加藤賢治	執行役員	太田貴夫	執行役員	毛戸 耕	監査役 役外	杉田克彦
取締役 役外	香坂 靖	執行役員	茅野義弘	執行役員	岩井辰雄	監査役 役外	水上政道
取締役 役外	長岡成之	執行役員	寺岡康郎	執行役員	木浦智之	監査役 役外	松山保臣

連結子会社 (70社)

永和化成工業株式会社
MGCトレーディング株式会社*
株式会社東邦アーステック
株式会社日本ファインケム
日本ユピカ株式会社
米沢ダイヤエレクトロニクス株式会社
株式会社JSP
MGCエレクトロテクノ株式会社
MGCターミナル株式会社
MGCフィルシート株式会社

MGC ADVANCED POLYMERS, INC.
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE. LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
AGELESS (THAILAND) CO., LTD.
THAI POLYACETAL CO., LTD.
三菱瓦斯化学工程塑料 (上海) 有限公司
巨菱精密化学股份有限公司
三永純化株式会社

他 50社

*2020年10月1日「三菱ガス化学トレーディング株式会社」へ社名変更

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL： https://www.mgc.co.jp/ir/publicinfo.html
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

ホームページではさまざまな
情報をご覧いただけます。



<https://www.mgc.co.jp/>

株式に関するマイナンバー制度のご案内

マイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となりますため、株主様から、お取引の証券会社等へご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、株式に係る各種支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

- 1) 証券会社の口座にて株式を管理されている株主様
…お取引の証券会社にお申し出ください。
- 2) 証券会社とのお取引がない株主様
…三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
連絡先：右記2）ご参照

株式に関するお問い合わせ先

- 1) 証券会社等の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
お取引の証券会社等にお問い合わせください。

(注) なお、支払期間経過後の配当金支払、郵送物の発送に関するご照会については、下記の特別口座の場合の連絡先をご利用ください。

- 2) 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
三菱UFJ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）にお問い合わせください。

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座に関する手続用紙

インターネットによるダウンロードURL：
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

